

柔道大会要項

- 1 大会名 第50回 筑前地区中学校柔道大会
第28回 筑前地区中学校女子柔道大会
- 2 期 日 令和3年7月17日(土) 受付開始 8:10(役員集合 8:00) 審判会議 8:40
競技開始 9:10(開会式は実施しない)
- 3 会 場 福岡武道館 (福岡市中央区大濠1丁目1番1号 TEL 714-1900 〒810-0052)
- 4 参加制限 各区から選出されたチーム及び個人とする。
【団体戦】 (1)男子チームの編成は監督(校長・教員)1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
女子チームの編成は監督(校長・教員)1名、コーチ1名、選手4名以内とする。
監督・コーチは各学校よりそれぞれ1名とする。
(2)男女とも団体戦出場校は、筑紫区3、糟屋区3、宗像区3、糸島区3の合計12校とする。
【個人戦】 (1)男女とも8階級(16階級)の体重別とする。筑紫区3、糟屋区3、宗像区3、糸島区3の合計12名とする。
(2)階級は 男子 50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級
女子 40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級
- 5 競技方法 <団体戦>
(1)男女とも団体戦は、参加12チームを3チームずつ4組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位4チームによって決勝トーナメントを行う。また、各組の2位4チームによって、5・6位決定トーナメントを行う。
(2)チーム間の勝敗は次のとおりとする。
①勝者数の多い学校を勝ちとする。
②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。
③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
⑤④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。
なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
(3)リーグ戦の順位は次のとおりとする。
①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分け1敗、1分2敗、3敗の順とする。
②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
⑩⑨で同等の場合は、代表戦(1名)による順位決定戦を行なう。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
<個人戦>
(1)トーナメント形式によって行う。
(2)得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
- 6 競技規則 (1)国際柔道連盟審判規定(2018~2020)「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
(2)勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。
個人戦においては、「一本」又は「技有」または「僅差」以上とする。
(3)代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗について、技による得点がない場合は「指導」差が上回った時点で決する。
(4)優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」}
(5)試合時間は、個人戦、団体戦共に3分間とし、延長戦は無制限とする。
(6)競技規則に、問題が起こったときは、専門委員会で協議する。
(7)チーム編成(オーダー)は体重順とし、一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も、体重順になるようにする。(体重が同じ時は、新たに入る者が先鋒に近い方とする)
①試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。
②一度退いた選手は、再出場を認めない。
③申し込みの選手が事故のため変更するときは、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。
(8)柔道衣の色は白色とし、帯は白帯と黒帯のみとする。女子の白線入りの黒帯は認めない。
(9)柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
①布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
②名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
③書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい)
④文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
⑤襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
(10)女子は、上衣の下の部分に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)
(11)試合者が絞め技で失神した場合はそれ以降、一連の試合に出場することができない。

7 外部指導者（コーチ）のベンチ入りについて

- (1) 令和3年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者。
- (2) コーチのベンチ入りは、男女問わず1校1名とし、ベンチ入り希望者は大会出場申込用紙に氏名を明記の上、学校1名のみ申請を行う。また、大会当日は本人に限る。
- (3) 大会本部発行のIDカードは、大会当日に受け取り、大会中は必ず携帯すること。
- (4) 服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守って指導に当たる。
- (5) その他、大会本部により申し合わせた事項を、監督会議の折りに各学校の監督に連絡、指導の徹底を図る。

8 参加資格 筑前地区中学校総合体育大会参加資格「特別規定」による。

9 表彰 男女団体戦・男女個人戦とも1～3位まで賞状を授与する。

県大会については、団体戦は男女とも6位まで、個人戦は3位までが出場資格を得る。

10 申込み 規定の申し込み用紙に書き込み、校長職印を押し、各区専門部長でまとめ、7月5日（月）までに申し込むこと。

(〒811-2313) 糟屋郡粕屋町江辻430 粕屋町立粕屋東中学校内 中野 大介 宛

TEL 092-939-0740 FAX 092-939-4064

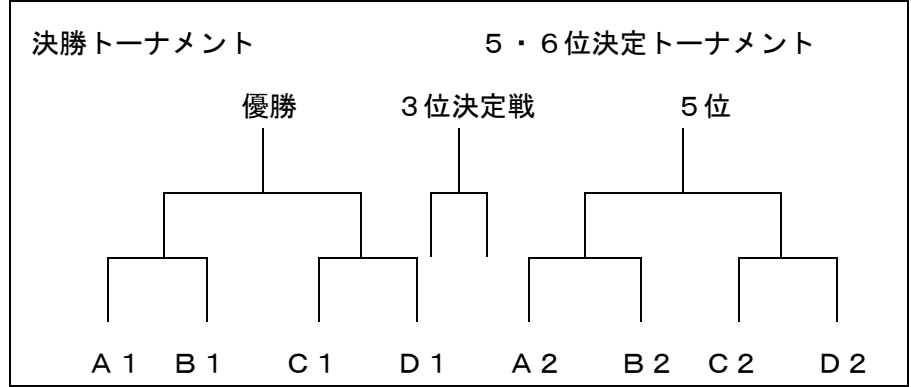
11 専門委員 <糟屋> 中野 大介 (粕屋東中) <宗像> 花田 英雄 (城山中)

<糸島> 馬場 海斗 (前原中) <筑紫> 西田 泰章 (二日市中)

12 組み合わせ

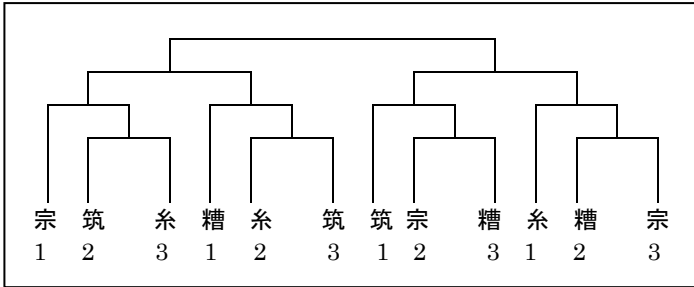
男子団体戦予選リーグ			
Aパート	Bパート	Cパート	Dパート
糟屋 1	糸島 1	筑紫 1	宗像 1
宗像 2	筑紫 2	糸島 2	糟屋 2
糸島 3	宗像 3	糟屋 3	筑紫 3

女子団体戦予選リーグ			
Aパート	Bパート	Cパート	Dパート
筑紫 1	宗像 1	糸島 1	糟屋 1
糟屋 2	糸島 2	宗像 2	筑紫 2
宗像 3	筑紫 3	糟屋 3	糸島 3

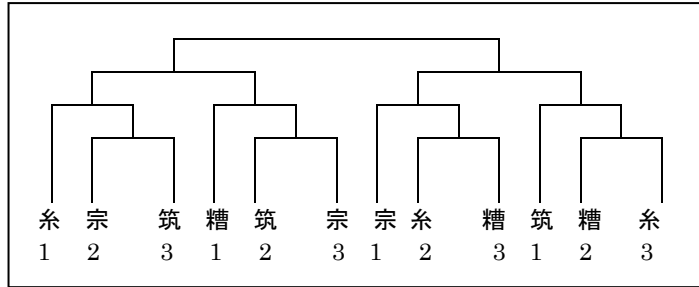


【個人戦・男女とも】

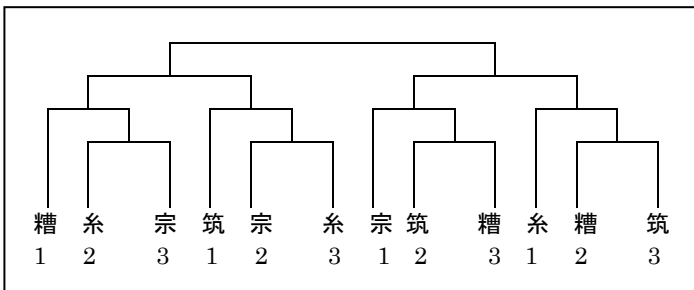
①男子66kg級 女子40kg級・女子70kg級



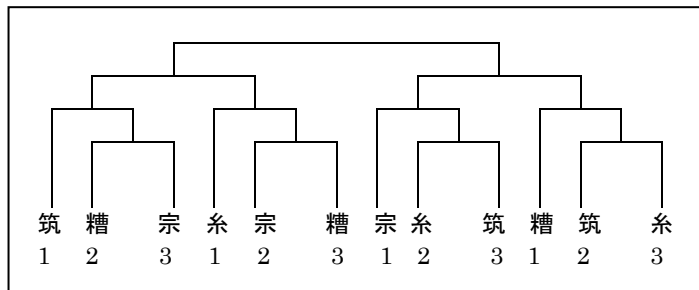
②男子73kg級 女子44kg級・70kg超級



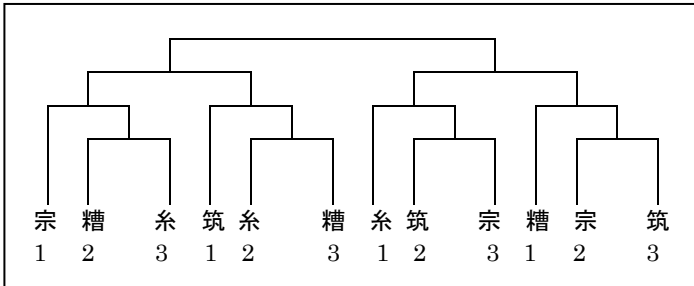
③男子81kg級 女子48kg級



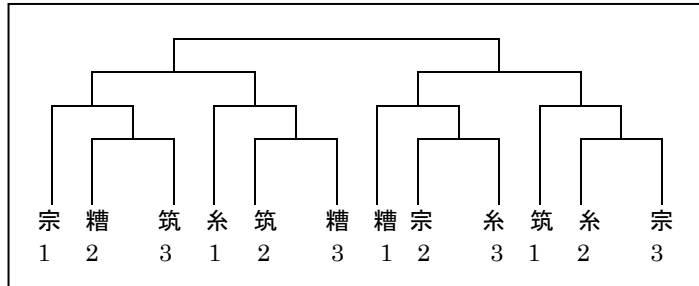
④男子50kg級・90kg級 女子52kg級



⑤男子55kg級・90kg超級・女子57kg級



⑥男子60kg級 女子63kg級



13 その他 AED 設置場所・・・事務室

Jアラート等警報時の対応については監督者会議で確認する。

14 本大会の新型コロナウイルス感染予防対策

- 受付時に当日の健康観察シート(選手・指導者・大会役員・審判)を提出しなければならない。
- 無観客とし、事前に登録した者しか施設入場できない。
- 受付時の検温で発熱があった者は大会参加及び施設入場することはできない。
- 開会式を行わず、各チームの試合時間に合わせて受付を行う。
- チームごとに消毒液を持参しなければならない。試合の「前」と「後」は、消毒や手洗いをを行う。
- 各チームが使用した場所(待機場所やベンチなど)は持参した消毒液で消毒しなければならない。
- 大会終了後には全身を自宅にてシャワーで洗う。
- 感染予防の観点から原則、あらかじめ柔道衣を着用しておかなければならない。ただし女子更衣室は人数の制限を行った上で使用できる。
- 施設に入場する者は、必ずマスクを着用しなければならない。また、消毒を行ってから、入場しなければならない。
- 靴はビニール袋に入れ、持参した状態で1階・2階の移動を行わなければならない。また、下駄箱は使用できない。
- 選手については、試合時のみマスクを外してよい。
- 2m以上のフィジカルディスタンスを守らなければならない。
- 施設への入場制限のために、IDは常に首にかけなければならない。
- IDは必ず返却してから、退場しなければならない。IDは消毒したのちに、次の選手に使用する。
- また、自チームの試合がすべて終了したら、速やかに決められた出口から退場しなければならない。
- 選手・指導者は、試合が行われている時のみ、1階に入場することができる。
- 試合が行われている選手と監督コーチしか柔道場に入ることはできない。次戦の選手のみ剣道場で待機できる。それ以降の選手は2階で待機する。また、個人戦においては階級ごとに試合を進行し、タイムスケジュールに合わせて、柔道場へ入場する。
- 1階・2階への移動は一方通行とし、指定された「上り階段」「下り階段」を使用しなければならない。
- 水分補給用の飲料については、個人で準備し、チームで共有してはならない。
- トイレを流す際は、フタをしめて流さなければならない。
- トイレ使用後は、30秒以上の手洗いと手指の消毒を必ず行う。
- ゴミは各自、持ち帰らなければならない。
- 敷地内は全面禁煙とし、喫煙場所は設けない。
- 常時、換気したままで大会を運営する。
- 大声での指示や応援・ハイタッチなどの接触は禁止とする。
- 上位3チーム(優勝・準優勝・3位)は決勝や3位決定戦が終了次第、該当選手(1名のみ)が本部に集合する。密を避けて表彰を行う。
- 選手や関係者が受付後に体調不良を感じた場合は、監督に申し出るとともに、監督は対策を講じなければならない。
- 会場使用にあたって柔道場における規定の人数制限があるため、試合最初に行うチーム同士の挨拶(礼)は実施しない。
- 密を避けるため、受付時に「計量」「マナーチェック」「柔道衣コントロール」を行う。
 - ※計量により、オーダー変更が生じた場合、係は随時、本部に連絡しなければならない。